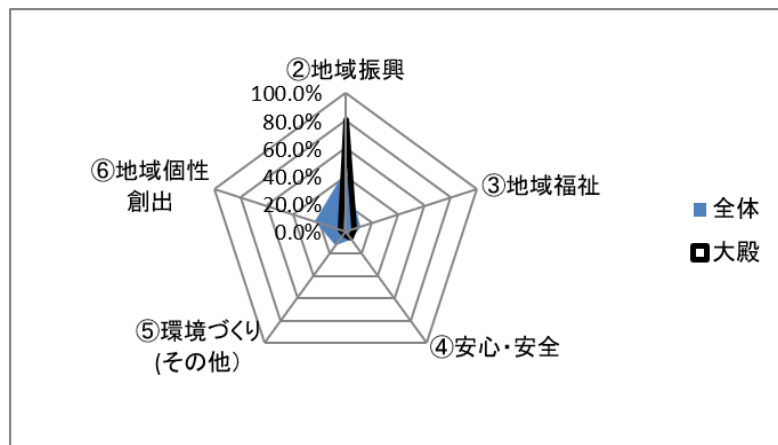


おおどのコミュニティ協議会 地域づくり交付金事業概要(令和7年度)

■地域の情報

地域人口	6,854人	自治会数	29
世帯数	3,116世帯	自治会加入率	88.0%

※数値は、令和8年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	7,973,000 円
交付金決算額	7,943,863 円
その他収入	1,591,109 円
交付金決算額／配分額	99.6%

各分野の決算

①協議会運営	5,789,104 円
②地域振興	3,023,038 円
③地域福祉	248,842 円
④安心・安全	237,983 円
⑤環境づくり(土木工事)	0 円
⑤環境づくり(その他)	99,000 円
⑥地域個性創出	137,005 円
決算総額	9,534,972 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

働くところがあり、心豊かに暮らし続けることができるまちづくり

■総括

今年は、第6期大殿堂地域づくり計画の2年目にあたり、各部会の年間事業予定に沿って会議を開き、皆で協力し事業を進めることができた。専門部会(あんぜん部会・やすらぎ部会・にぎわい部会)と運営委員会の位置づけとして、

- ・専門部会は、地域課題一つ一つの視点を明確にしてその解決策を協議、検討する。
- ・運営委員会は、地域内の連携強化のため「まず知り合うことから」というスタンスで協議を重ねている。

基本目標の「働くところがあり」に込めたやりがいやいきがいにつながるよう、地域住民に幅広い参加を促すタイムリーな情報発信に努めた。

地域の良さや魅力の再発見と新たな人材の巻き込みにつながる事業を目指して、まちづくりを知ってもらう、参加してもらう、参画してもらう、それぞれの段階で関われるメニューを用意するなど、会員が支える事業から住民が参画する事業へシフトしていく仕掛けを検討していきたい。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局の運営体制
② 地域振興	・地域情報の発信と広報活動事業 ・地域行事の活動支援事業 ・地域の地縁の輪づくり事業 ・地域コミュニティ推進事業 ・地域コミュニティ推進事業(つながり) ・助成金交付事業
③ 地域福祉	・三世代交流事業 ペタンク大会 ・三世代交流事業 カローリング体験会 ・健康づくり事業(健康ウォーキング事業、介護学習会、健康体操教室活動支援事業) ・おおどのたすけあいのまちづくり事業
④ 安心・安全	・大殿堂地区安心安全のつどい事業 ・自主防災活動推進事業 ・地域見守り活動事業 ・反射鏡設置事業
⑤ 環境づくり	・環境整備事業

⑥ 地域個性創出	・伝統文化の保存継承事業 ・地域活性化事業
----------	-----------------------

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	①地域情報の発信と広報活動事業 ②地域の地縁の輪づくり事業 ③地域コミュニティ推進事業(つながり)	決算額	①849,508円 ②531,357円 ③39,729円
	目的	①地域情報の共有や発信を進める。 ②地域の伝統文化(祭り)を通して地縁の強化を図る。 ③新たな人材の巻き込みや地域交流を通じて連携強化を図る。		
	実施内容	①ホームページの定期更新。広報紙「地域情報みんなのおおどの」発行 ②地縁の復活をめざして取り組んでいることを実行委員会で共有し、各町内会に「大殿七タちょうちん」と八坂神社にやかたちちょうちんを設置。「お家で軒先ちょうちんを飾ろう」と呼びかけと、ちょうちんサポーターやボランティアスタッフを募集した。 ③研修事業の実施(庭木の学校5月・10月、里山の学校(山登り)中止、消防出初式見学会1月中止、ボランティアの実証実験8月)		
	実施時期	①令和7年4月～令和8年3月 ②令和7年7月～令和8年2月 ③令和7年5月10日・10月11日		
	参加人数	①182人 ②230人 ③100人		
	成果	①事業の告知・報告のほか、地域の各団体からの情報を発信できた。紙面を通じ、やまぐち21元気ミーティングへの意見募集など地域の皆さんの参画を促した。 ②ちょうちん事業では、各町内会「大殿七タちょうちん」の設置と、軒先ちょうちん70セットの協賛をいただいた。飾った写真を送ってもらい、HPで軒先ちょうちんギャラリーとして発信することができた。 ③5月・10月に実施した庭木の学校では環境美化活動ができた。里山の学校と消防出初式見学会は中止となった。ボランティアの実験として、ちょうちんまつりで、火入れサポーター、ボランティアスタッフを募集した。		
	評価	①広報紙「地域情報みんなのおおどの」発行。事業目的の共通理解にたって年度ごとの「到達点」を明確にし、段階を踏んだ調整を進めていく必要がある。 ②各町内会に「大殿七タちょうちん」を呼びかけた。また、「軒先ちょうちん」も地域の皆さんの協力が得られた。LEDライトを使用してもらい、火事が起こらないよう安全に配慮した。 ③研修事業は新たな参加者を巻き込むための学校シリーズ(多様なメニュー)の検討や参加者同士の交流を深める工夫も必要。健康維持を目的に参加できるものなど。		
	今後に向けて	①地域の皆さんを巻き込んだ情報発信のありかたを引き続き検討していく。 ②会員による事業運営から住民を巻き込んだ事業運営にシフトしていくという視点も入れた協議を深めるとともに、参加したくなる募集告知の打ち方も検討していきたい。今後も八坂神社にやかたちちょうちんを設置し、ちょうちんサポーターやボランティアスタッフを募集して、地域の方が参加しみんなでちょうちんまつりを盛り上げていきたい。 ③引き続き、地域の良さや魅力の再発見と新たな人材の巻き込みにつながる事業を目指して、まちづくりを知ってもらい、参加してもらい、参画してもらい、それぞれの段階で関われるメニューを用意するなど、会員が支える事業から、住民が参画する事業へシフトしていく仕掛けを検討していく。		

②	事業名	伝統文化の保存継承事業	決算額	64,436円
	目的	地域個性を活用したにぎわいの創出		
	実施内容	地域のお宝学習会2回と大殿まちあるき ◆7月19日「西のお伊勢様 山口大神宮を訪ねる」 ◆9月20日「大殿の魅力再発見！」 ◆2月1日「幕末維新期の萬代家を中心に」		
	実施時期	令和7年7月19日・9月20日・令和8年2月1日		
	参加人数	92人		
	成果	◆第1回「西のお伊勢様 山口大神宮を訪ねる」: 神職の松田年通様にご案内いただき、日本で唯一伊勢神宮から勧請されて造られた特別な建物、下宮・内宮を見学。独特な建築様式など初めて知る事ばかりでメモを取りながら神職の丁寧な解説を熱心に拝聴した。 ◆第2回「大殿の魅力再発見!」: 元大殿地域交流センター所長近藤義則様を講師に招き開催しました。現在、おおどのゆーちゅー部隊として活動され、大殿の魅力を地域に発信されています。大殿は長い歴史の中で庶民に息づく独自の風習や行事など多くの魅力に溢れている。 町内会名の不思議、山口の名のルーツを知る手がかりとは? 「庚申塔」って何? などスライドショーで大殿の歴史を深掘りする学習会となった。 ◆第3回「幕末維新期の萬代家を中心に」: 高杉晋作 久坂玄瑞. 激動の時代若者達の熱い風が大殿を吹き抜けた! 大内時代後四百年の沈黙を経て、大殿が再び日本を動かした! 『大殿ヒストリート維新が駆けめぐる! Vol.1幕末維新期の萬代家を中心に』をテーマに、十朋亭維新館学芸員の立石智章様を講師に招き開催。 幕末期、長州藩主毛利敬親が、萩から山口へ藩庁を移した際、十朋亭が藩の役人たちの宿泊所となり、当主・萬代利兵衛が志士達の活動を支援していたことから多くの来客があったことなどお話いただいた。		
	評価	大殿地域には、歴史深いお宝がたくさんある。日頃は入ることのできない場所や、宮司さんの説明は大変講評だった。		
	今後に向けて	アンケート結果を参考にして、この事業を地域に広めていきたい。地域の皆さんの参加が大いに期待される。参加したくなる募集告知の打ち方も検討していきたい。今後も、地域のお宝(歴史、文化、祭り)を再発見・発信し続け大殿地域の魅力を伝え、学びたいと思っている。		